

Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>



NO.4の2

令和5年10月27日

編集・発行

学校支援課 広報担当

授業改善のヒント満載！

～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて～



今年度、新潟市は、質問紙の「主体的・対話的で深い学び」に関する項目で、全国より5ポイント以上高い結果となりました。先生方が日々、素晴らしい授業を行っていることの現れです。

本調査の結果を基に授業改善を一層推進し、さらなる学力向上を目指していただけるように、各教科の課題から考えられる指導改善の方向をお示しました。

次のようにご覧いただき、日々の授業を考える際にご活用ください。

★★本号「Support」の読み方★★

- ①読みたい教科の今年度の問題や報告書を手元に置く。(下のQRコードでも読み込み可能。)
- ②下の学校支援課作成「動画」QRコードを読み込む。
- ③「動画」を視聴しながら、該当教科部分を読む。

中学校国語

①問題



①' 報告書



②動画



中学校数学

①問題



①' 報告書



②動画



中学校英語

①問題



①' 報告書



②動画



いずれの動画も
10分間程度です！



中学校国語

【課題】読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える

〈具体的な設問〉 3ー 市正答率 52.3%

レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。

誤答率 47.2%

(誤答例 類型3)

3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。



改善の方向 学習した知識を観点として文章を読み返させる

学習指導要領との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。 (推敲)

学習活動例 推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する。

(3) 「判じ絵」の面白さ

「判じ絵」は、解読の仕方が面白いと考える。二つの具体例を取り上げて説明する。

【図2】は鈴の絵に目が描かれている。描かれている「スズ」と「メ」を組み合わせて、「スズメ」という意味になる。

【図3】は「砂」という漢字が逆さまに書かれている。絵を解読するのではなく、文字を解読する場合もあるのだ。

このように、解読の仕方が一通りではないところが、「判じ絵」の面白さなのである。



【図2】 スズメ



【図3】 ナス



レポートを書き換えて、具体例を複数示すことにしました。解読の仕方が一つではないことを伝えることで、「解読の仕方が面白い」ということを、しっかり伝えられると思いました。

具体例が二つ示されていていいですね。ただ、図3の説明を読んでも、どのように解読するのが分からないので、「解読の仕方が面白い」という考えの根拠にはなっていないと思います。図3の解読の仕方を説明するか、解読の仕方に特徴がある別の「判じ絵」を取り上げれば、「解読の仕方が面白い」という考えがよく伝わると思います。



◆参照：「報告書 国語」49・50ページ

叙述の仕方などを直したことで、伝えようとするのが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って確かめることが重要です。他教科等でも、国語科での学習を生かしましょう！

【課題】文脈に即して漢字を正しく書く

誤答率46.1%
無答率12.2%

〈具体的な設問〉3二 市正答率41.7%

下線部のひらがなを漢字に直し、楷書でていねいに書く。(おし量って考える)

(誤答例 類型99)

「押」や「進」、「椎」などの誤答が見られ、その多くが「押」という解答であった。

▲「押し量る」という言葉になじみがないなど、文脈に即して「おし」の意味を捉えることができず、同じ訓をもつ「押」と書いたものと考えられる。



改善の方向 字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、
文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるように指導する

漢字の書きについて

- ・文や文章の中で使い慣れる。
- ・必要に応じて辞書を引くことを習慣付ける。
- ・一人一台端末を活用した文字入力の際にも、漢字がもつ意味に留意して、適切に選択する力を養う。

漢字の読みについて

- ・学習指導要領の学年別漢字配当表に示されている漢字1,026字に加え、中学校修了までに学年別漢字配当表以外の常用漢字の大体を読む。

◆参照：「報告書 国語」51ページ

国語科の学習だけでなく、他教科等や日常生活の中でも漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが重要です！

中学校数学

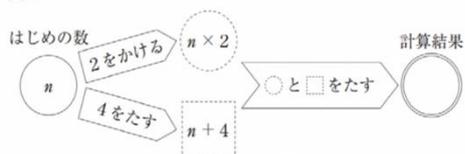
【課題】結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明すること

誤答率約6割

〈具体的な設問〉6(3) 市正答率37.4% (全国比-3.5ポイント)

夏希さんの計算をもとに考え、はじめの数に何をかけて何をたせば、計算結果がいつでも4の倍数になるのかを予想する。

図3



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。
計算結果は、
 $n \times 2 + (n + 4)$
 $= 2n + n + 4$
 $= 3n + 4$

〈正答例〉

はじめの数にかける数が3、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。

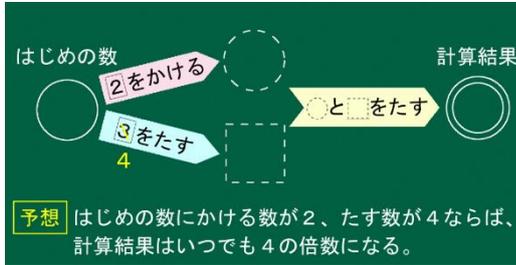
〈主な誤答例〉

- ・はじめの数にかける数が4、たす数が・・・
 - ・はじめの数にかける数が3、たす数が1ならば・・・
 - ・はじめの数にかける数が1、たす数が4ならば・・・
- 計算結果が4の倍数になるような数を、夏希さんの計算の過程から考察し見出すことができなかつたと考えられる。



改善の方向 事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想したり、ある事柄が成り立つための条件を見出したりする活動を取り入れる

- 前提を変えた場合について、計算結果を予想して、予想が成り立つことを説明したり、説明を振り返って新たに成り立ちそうな事柄を予想したりする活動を設定する。



たす数「3」を「6」や「4」に変えても、計算結果は4の倍数になるかな。



文字式を使って、説明してみよう。4の倍数になることを説明するには、 $4 \times (\text{整数})$ の形になればいいね。



- 予想が成り立たない場合にもそれまでの問題解決の過程や結果を基にして、その理由を考察し、結論が成り立つための前提をとらえる活動を設定する。

はじめの数に入れる整数を n とすると
 $n \times 2 + (n + 4)$
 $= 2n + n + 4$
 $= 3n + 4$
 $4 \times (\text{整数})$ の形にできない！



予想が成り立たないね。計算結果がいつでも4の倍数になるのは、どんな場合だろう。

文字式を使った計算の過程を振り返って考えてみよう。



$3n+4$ が $4n+4$ になれば、 $4(n+1)$ にできるね。 $3n$ を $4n$ に変えるにはどうしたらいいかな。

※計算結果が4以外の倍数になる場合や「たす」を「ひく」に変えてみるなどの発展的な考察も考えられる。

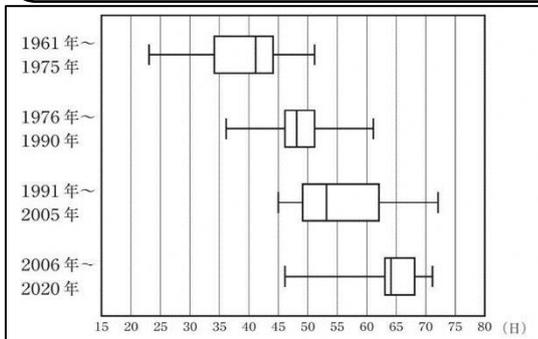
解決された問題や解決の過程を振り返り、条件を変えた場合について考えるなど、新たな問題を見出し、解決する機会を設けましょう！

【課題】複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

〈具体的な設問〉 7 (2) 市正答率 29.8% (全国比 -3.8 ポイント)

誤答率約7割

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向がある」と主張できる理由を、箱ひげ図に着目して説明する。



〈正答例〉

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある（または、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きい。）。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

〈誤答例〉

- ・箱ひげ図の箱に着目せず、最小値に着目している。
- ・箱ひげ図から分布の傾向を視覚的に捉えようとしているが、数学的な表現を用いて説明していない。



授業アイデア例



改善の方向 データを収集して分析し、それを基に分布の傾向を読み取り、
批判的に考察し判断するとともに、その理由について説明し合う場面を設定する

【課題】図形の性質を考察する場面において、空間における平面が同一直線上にない3点
 で決定されることを理解していること

〈具体的な設問〉 ③ **市正答率30.9% (全国比+0.5ポイント)**

誤答率約7割

空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ。

〈正答〉1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

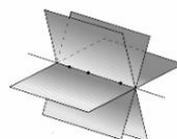
〈誤答〉・2点をふくむ平面は1つに決まる。…25.5%

・1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。…36.0%

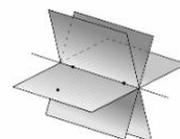


改善の方向 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを
観察や操作などの活動を通して理解できるようにする

- 右のような図を観察することなどを通して、一つの直線を含む平面が幾つもあることを捉え、その上で、同一直線上にない3点で平面が一つに決まることを確認する。



一つの直線上にある3点を含む平面は一つに決まらない



一つの直線上にない3点を含む平面は一つに決まる

- 身の回りにある事象から、空間において平面が一つに決まる条件を見だし、実感を伴って理解できるようにする。

身の回りにある平面と平面が一つに決まるための条件の例

一つの直線とその上にない1点

同一直線上にない3点

交わる2直線



(英語は次のページからです)

中学校英語

【課題】 言語の働きを理解し、状況にふさわしい表現を正確に書く。

〈具体的な設問〉 9(2) 市正答率24.1%
メールの英文を依頼する表現に書き換える。

無答率約3割



コミュニケーションの目的・場面・状況等を設定し、

その状況において**どんな表現が適切か、考えたり話し合ったりする活動を行う**

☆例えば、「困っている人を手伝おうとする」(Talk)場面で...

今まで学習した表現を使って、困っている人に手伝いを申し出てみましょう。

"Can I~?"は「~しましょうか」だから"Can I help you?"でどうかな。

だったら、"Shall I help you?"でもいいかも。

「何か手伝えますか」と聞けばいいから、"What can I do for you?"はどうかな。

"Do you need some help?"とも言えそうだよね。

学習した表現を使えば、新しい表現もいろいろ考えられるね。

今まで学習した表現を想起して、複数の表現に触れながら、**適切な表現を考える経験を多くさせましょう。**

上記の例は、困っている人を手伝おうとする場面で、手伝いを申し出る表現を出し合っています。はじめから使用する英語表現を提示せず、生徒に考えさせます。

「1つの表現を暗記させること」から「今まで学習した表現を想起して、複数の表現に触れながら適切な表現を選ぶ、または理解すること」が大切です。

☆例えば、「ALTの先生にスピーチ発表会に来てほしいと依頼する」(Write)場面で...

「スピーチ発表会に来てください」にして、
"Please come to the speech presentation."
にしたよ。

私も「スピーチ発表会に来てください」にして、
"Come to the speech presentation,
please."にしたよ。

誘う表現にして、
"Let's go to the speech presentation."と
書いてみたよ。

「スピーチ発表会に来れますか？」から発想して
"Can you come to the speech presentation?"
と書いたよ。

「スピーチ発表会に来ますか？」にして、
"Do you come to the speech
presentation?."
と書いたよ。

私は、
"You want to come to the speech
presentation."としてみたけど、これでいいのかな...

2年生の時に習った表現を使って、
"Could you come to the speech
presentation?"
としたよ。

生徒から出た表現の比較や分類を通して、表現の違いを理解し、適切な表現を選べるようにしましょう。

☆例えば、「ALTの先生にスピーチ発表会に来てほしいと依頼する」(Write)場面で・・・

Let's go to the speech presentation. Let'sは誘う表現で、一緒に何かするイメージだから「依頼する」とは異なるね。

Do you come to the speech presentation? Do youはあなたの習慣をたずねる表現だったね。

You want to come to the speech presentation. You want toだと「ALTの先生が発表会に来たい」と思っているのが前提になっているから、「依頼する」と異なるね。

Please come to the speech presentation. Pleaseで始めると、来てもらうことが前提になっているね。

Come to the speech presentation, please. Come toで始めると、命令されているような印象があるかな。

Can you come to the speech presentation?

Could you come to the speech presentation?

上記の例は、ALTの先生にスピーチ発表会に来てほしいと依頼する場面で、生徒は自分がふさわしいと思う表現を出し合っています。ここでも、はじめから使用する英語表現を提示せず、生徒に考えさせます。

比較したり、分類したりして目的・場面・状況に応じた適切な表現があることを理解させます。生徒同士で気付かないときは、ALTからも意見をもらい全体で共有することも考えられます。

国立教育政策所ホームページには、「学習指導の改善・充実に向けた説明会」の資料や動画が示されています。

各教科の学力調査官が、今年度の結果とその分析に基づいて、分かりやすく指導改善について説明しています。ぜひ、ご覧ください。

～学習指導の改善・充実に向けた説明会 QRコード～

